

●設置場所

- ・建物内、建物敷地内（特殊施設を除く）
- ・公園敷地内
- ・公道の車道以外で車両の乗り入れる可能性のある場所（ただし円形水路用は別途ご相談ください。）

●荷重区分

T 荷重	総荷重	載荷板寸法	後輪一輪荷重		衝撃係数
T-20（敷地内T-25適合） 	25,000kgf	200×500mm	70 kN	(7,139kgf)	0.4
T-14（R5） 	20,000kgf	200×500mm	54.92kN	(5,600kgf)	0
T-8 	8,000kgf	200×500mm	31.39kN	(3,200kgf)	0
T-2 	2,000kg	200×160mm	7.85kN	(800kgf)	0
歩道用 	荷重条件	安全荷重			
	等分布	5.0kN/m ² (約510kgf/m ²)			

※T-14荷重は、R5荷重（後輪一輪荷重：50kN）にも対応しています。

T-20荷重について

車両通行時の衝撃を考慮した製品です。出入口等、車両が繰り返し通行する場所にも使用可能です。ただし公道での使用には適しません。

車両通行時の衝撃は、道路橋示方書を参考に衝撃係数0.4に定め、輪荷重5トンに乗算しています

荷重（後輪一輪荷重）：50kN×1.4＝70kN

タイヤ接地面積：200×500mm

※交通量が多い場所や、フォークリフトなどの特殊車両が通行する場所には適しません。

T-14荷重について

基準・規格による車両総重量：14トン（14000kgf）

※社内規格（旧道路橋示方書）による。

荷重（後輪一輪荷重）：14000kgf×0.4＝5600kgf≒54.92kN

※車両総重量が14トンを超える車両においても、後輪一輪荷重50kNまでの緊急車両等の乗り入れは可能です。

タイヤ接地面積：200×500mm

※交通量が多い場所や、フォークリフトなどの特殊車両が通行する場所には適しません。

R5荷重（輪荷重5トン）について

基準・規格による車両総重量：25トン（25000kgf）

荷重（後輪一輪荷重）：50kN（5103kgf）

※車両制限令 第三条 車両の幅等の最高限度による

タイヤ接地面積：200×500mm

※交通量が多い場所や、フォークリフトなどの特殊車両が通行する場所には適しません。

T-2荷重について

基準・規格による車両総重量：2トン（2000kgf）

※社内規格による。

荷重（後輪一輪荷重）：W=2000kgf×0.4＝800kgf＝7.85kN

タイヤ接地面積：200×160mm

※交通量が多い場所や、フォークリフトなどの特殊車両が通行する場所には適しません。

歩道用について

基準・規格：歩道等の群集荷重

※道路橋示方書による

荷重：5.0kN/m²荷重条件：等分布荷重